



もくじ

- 1P～3P：和泉市交換学生代表団をブルーミントン市へ派遣
- 3P：日本語ボランティア養成講座がスタート
- 4P：ブルーミントン市姉妹都市委員会より、ツインシティマラソンランナー派遣
- 5P：外国語会話講座修了式&交流会、世界一周紀行②
- 6P：おしらせ

和泉市交換学生代表団をブルーミントン市へ派遣

8月8日(水)～22日(水)、市内の高校生・大学生6名と引率者2名を、姉妹都市・米国ブルーミントン市に派遣しました。



ブルーミントン市は森と湖に囲まれた、美しい街です。街の南端にはミネソタ川に沿って、広大なミネソタ・バレー国立野生生物保護区が広がっています。住宅街にはリスが走り回り、夜には鹿やコヨーテが現れることもあるそうです。

滞在期間中は、現地のご家庭にホームステイさせていただきました。文化の違いがあり、戸惑うこともありましたが、家族の一員のように温かく迎えていただき、交流を深めることができました。

ミネソタ州会議事堂やミネハハの滝、公共施設や学校を訪れ、アメリカの雄大な自然や歴史、そして建国以来、脈々と受け継がれているボランティア精神にもふれることができました。

今年は、姉妹都市提携25周年にあたり、現地では記念パーティーが開かれました。

また、ミネソタ州都セントポール市で毎年開かれる、日米ミネソタ協会(JASM)主催のお盆フェスティバルにも参加しました。現地在住の日系人、「3世・4世会」の方々とも輪になって盆踊りを踊り、交流することができました。

学生達は、『姉妹都市25周年の歩み』についてのプレゼンテーションや、南中ソーランをアレンジした「和泉ソーラン」のダンスを現地で披露しました。

アメリカでのさまざまな体験を通して刺激を受けた学生達が、学んだことを多くの人々と共有し、グローバル人材として今後活躍され、国際交流の輪が広がっていくことを期待しています。



和泉市交換学生派遣事業に参加して

辻井 みなみさん

ホームステイで二週間、アメリカで暮らす方々と共に生活を体験することで、旅行では決して味わえないものをたくさん経験することができました。

アメリカの実際の生活を体験することで、日本との相違点を、身をもって体感しました。そういった機会が非常に多く、外側から日本を見つめ、とらえ直すことで自分の中の日本像も少し変わっていきました。よって逆説的ではありますが、日本にいる頃よりも、日本をよく知ることができたように思います。

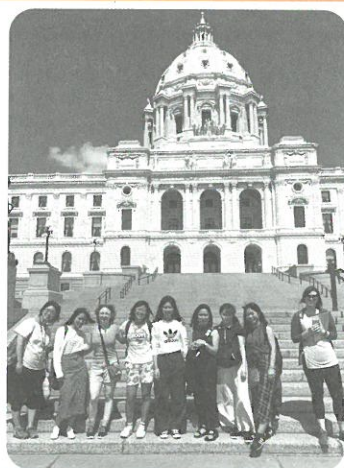
辻野 安純さん

プログラムの中で、特に印象に残っているのは、隣のセントポール市で開かれた「お盆フェスティバル」です。私が想像していた以上にお祭りの規模は大きく、たくさんの来場者がいることに驚きました。ステージで和太鼓や日本の歌を披露する方々に交じって、自分たちの踊りを披露することに私は緊張しました。しかし、私たちが踊り終わると観客が「かっこよかったよ!」と言ってくれました。和泉ツアーを知らない方々に対して、新しい日本の文化を一つ発信できたような気がしました。



光定 晴香さん

ホームステイ先でもとてもよくしてもらいました。色々な場所に連れて行ってもらって、ゴルフやカヤック、船に乗せてもらったりホストマザーのお友達の持つプールに連れて行ってもらったり。本当にたくさんの経験をさせてもらいました。毎日朝から美味しいご飯が出てきて、時にはホストファザーが朝刊で見つけたアボカドトーストを作ってくれて、またある時には外で焼いたソーセージでホットドッグを作ってくれて、毎日違うメニューの食事は全部美味しかったです。



亀山 あかりさん

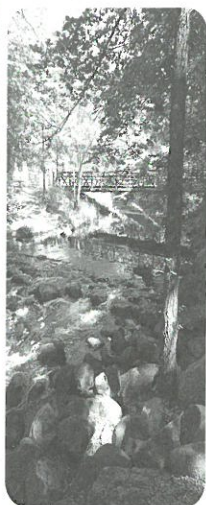
アメリカ料理と言えばハンバーガーですが私はレモネードが一番好きです。特にレモネードとキャラメルポップコーンの組み合わせはいつまでも食べ続けられるほどの大好物になりました。アメリカに行くまではラズベリーが苦手だったのですが、ラズベリーとレモネードを組み合わせたピンクレモネードはとても大好きで、今ではラズベリーも美味しく食べることができています。ホストマザーは、私があまりにもキャラメルポップコーンを好んで食べるので、お土産に買ってくれました。





西澤 舞さん

町中に国旗が掲げられていたり、家は地下と地上の二階建てだったり、「自分の当たり前が世界の当たり前ではない」ということを実感する日々でした。ホストファザーからは、知識や思いやりを人に与えることは自分にも返ってくるということや、お金をためて貧しい子のために使おうと考えているという話を聞きました。ホストマザーはインドネシア人だったので、アメリカの文化だけでなく他の国の文化にも触れることができ、ホストファミリーからも多様な価値観を教えてもらいました。



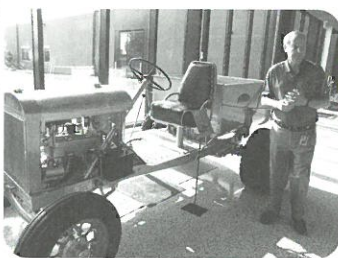
釜下 桃歌さん

消防署では、常勤の方が数人しかいないくて、ほとんどの人がボランティアで消防士をしていて普段は別の仕事をして、シフト制で行なっているそうです。ホストファミリーからは、アメリカの政治や移民政策、差別問題、貧困問題などたくさん話をしてもらい、日本とは全く仕組みや考え方が違って、そんな捉え方があるんだと興味したり、逆に、これは日本の方がいいなと今までは気付かなかった事に気付いたり、とても良い経験になりました。



随行通訳ボランティア 塚本 俊也さん

ブルーミントン市姉妹都市委員会は、基本的にボランティアで運営されているということを知っていたが、まさにその市民の私たちの受け入れの努力とそのボランティア精神を目の当たりにし、感謝の言葉しか見つからない。これが25年間少しずつ培われてきた実績なのだと思う。この関係はこれからもさらに成長させていける関係であると実感することができた。お盆フェスティバルにもホームステイ先の家族と一緒に参加して、交流を深められたと感じている。



日本語ボランティア養成講座がスタート

10月1日(月)、日本語ボランティア養成講座がスタートしました。開講式では、国内の日本語教育の概要や、日本語ボランティアに求められる役割について講義を受け、皆さん熱心に聞き入っておられました。これから毎週月曜日、日本語ボランティアとしての心構えや、日本語の基本的な文法や指導方法について全12回の講座で学習していきます。



ブルーミントン市姉妹都市委員会より



Nora Smithさん

When I first arrived in Izumi City, I already knew that it was an important place to me. I knew that I had never been to this town before, but somehow I felt like I had known it forever. From the bustling shopping district to the quiet neighborhoods where I made good memories with my host families... From the scenic sky scape to the impressive Ikegami Sone Ruins... Izumi City is a special place with kind-hearted people. I am grateful that I can think of Izumi City as my second home town.

A part of my heart will always be in this City.

Nora Smith - Outgoing BSCO President



私が初めて和泉市に来たとき、既にここが大切な場所であることを知っていました。それまで、この街を訪れたことはありませんでしたが、何だかずっと昔から知っていたような気がしていました。にぎやかなショッピングエリアから、ホストファミリー達と良い思い出を築いた閑静な住宅エリア、風光明媚な空が印象的な池上曽根史跡まで。和泉市は親切な人々のいる特別な場所です。私は、和泉市が第二の故郷であることに感謝しています。私の心の一部は、いつもこの街にあります。

ブルーミントン市姉妹都市委員会前会長ノラ・スミス



ノラさん手描きの池上曽根遺跡

ツインシティマラソンランナー派遣

アメリカ・ミネソタ州で行われるツインシティマラソンに

派遣する石原 幸美さんと藤原 健さんが出発前に市長表敬訪問を行い、市の代表として参加する決意を新たにされました。



石原 幸美さん



藤原 健さん



左から石原さん、辻市長、藤原さん

我が家では、これまでにブルーミントン市から 7 人の高校生や大学生を受け入れており、彼らからミネソタ州の素晴らしさを聞いていたので、いつかは彼らの故郷ブルーミントン市を訪ねたいと思っていました。「全米で最も美しい都市マラソン」と言われているこのツインシティマラソンに参加し、ミネソタ州の景色や自然を楽しみながら完走することが今の目標です。

滞在させていただく際は、和泉市民代表として「招待に感謝」という気持ちを忘れず、英語での相互理解が難しい時は、笑顔とジェスチャーで通じ合いたいと考えています。

一人間として外国の方々との出会いを大切にすることはもちろんのこと、「和泉市をアピールし、ブルーミントン市をより深く知る」という私なりの課題で交流し、親善を深めたいです。

外国語会話講座 修了式&交流会

5月に開講した「外国語会話講座」3講座は、それぞれ全10回の講座を終え、8月6日に修了式を迎えました。外国語を学ぶことをきっかけに、外国の文化や国際交流に関心を持ち続けていただけるように願っています。(なお、本講座は和泉国際交流会 ICIX に業務委託して実施されました。)

韓国・朝鮮語



감사합니다!



はじめての韓国・朝鮮語会話講座

中国語



谢谢!



はじめての中国語会話講座

英語



Thank you!



おもてなし英語会話講座

世界一周旅紀行 (②トルコ編)

2018年3月から、世界一周の旅に出られた和泉市交換学生元団長の石崎祐太さんのレポートです。世界の街角で見聞きしたことや体験について、シリーズでご紹介しています!

こんにちは。石崎祐太です。

前回の台湾編では8ヶ国を訪れたというお話でしたが、時間はあっという間に経つもので、現在25ヶ国目となりました。

出発からはもう半年以上が過ぎ、これまでにトラブルを含めて色々なことがありました。例えば、インドで食中毒になって死にかけたり、ジョージアやポーランドで現地の人達にウォッカをたらふく飲まされ、ベロベロで長距離バスへ乗り込んだり。辛いことも嬉しいことも多い、そんな充実した旅をお陰様で楽しんでいます。

今回は、私が特に好きだった国、トルコについてです。偶然にも日本人バックパッカーと次々に出会い、トルコ滞在の間だけ、合計5人で旅をすることになりました。団体行動が非常に新鮮で、知識量も情報収集力も単純に5倍。カッパドキアという場所では全員の力を合わせたおかげで、格安の値段で熱気球に乗る体験ができました。

高速で飛ぶ飛行機の窓から見る景色とは違う、ゆっくり少しずつ上昇していく気球から眺める大空は、本当に美しくて壮大でした。気球が上昇し始めた時は、地上から遠ざかる恐怖もありましたが、だんだんと興奮が勝り絶景に見惚れていると、気付けば高度2200mの世界でした。普段は貧乏旅をしている私ですが、思い切って気球ツアーに申し込んで良かったと本当に思います。

カッパドキアの後は、イスタンブールへ。当時はトルコ通貨が暴落しており、旅人にとってはボーナスタイムのような時期で、島間の移動に使うフェリーも約50円程で乗ることができました。カモメが船と並行して飛んでいて、岸の方を振り

り返れば大きなモスクが見え、とても幻想的な光景でした。

そして、なんといってもトルコ料理が本当に絶品です。特にケバブはどこでも食べられています。お肉が香ばしくて、パン生地も自家製のものがほとんどです。

今回はここまでです。トルコやその他の国についても、ブログで記事を書いているので、もし良ければ見てみて下さい。



姉妹都市提携 25 周年記念シンポジウム

姉妹都市の米国ブルーミントン市のゲストと共に、25年間の交流の歩みを振り返り、国際理解を深めてみませんか。
 日 時：11月25日(日)午後3時～午後5時
 場 所：和泉市コミュニティセンター
 テーマ：「多文化共生のこれから」
 申込不要・入場無料



国際交流バスツアー参加者募集

ブルーミントン市代表団と一緒に各地を巡り、交流を深めてみませんか？

日程/ツアー名：

①平成30年11月27日(火)

久保惣記念美術館・高野山

②平成30年11月28日(水)

金閣寺・天龍寺

③平成30年11月29日(木)

和泉市内（絵写経・とんぼ玉作り体験）

費 用：食事代や入場料・体験料等は実費（現地払い）

定 員：若干名（マイクロバス定員内）

集合・解散：和泉市役所（予定）

申 込：電話、FAX、ハガキ、Eメールにて、
 「国際交流バスツアー参加希望」と明記し、参加したいツアー番号（第3希望

まで）、住所、氏名（ふりがな）、人数（2人まで）、電話番号を記入のうえ、11月12日(月)まで〈必着〉



発 行：和泉市(人権・男女参画室)

編 集：和泉市国際交流協会広報委員会

住 所：〒594-8501 和泉市府中町二丁目7番5号

T E L：0725-99-8115(直通)

F A X：0725-45-3128

E-mail：izumi_jea@ican.zaq.ne.jp

日本と世界の子どもの作品展

友好都市・中国南通市、姉妹都市・米国ブルーミントン市の子どもたちと、市内保育園・幼稚園・認定こども園、小学校の子どもたちの絵画・書道などの作品を展示します。作品を通して、各国の文化や子どもたちの多様な感性に触れてみませんか。

開催日：11月10日(土)午前10時～午後6時

11月11日(日)午前10時～午後4時

場 所：和泉シティプラザ北棟3階

学習室1A・B



大阪府外国人情報コーナー

外国人のための相談窓口です。相談無料！

- ◆ 在留資格、労働、医療、福祉、生活相談など
 - ◆ 専用電話 06-6941-2297
 - ◆ 相談時間 9:00～17:30
 - ◆ 相談日 毎週月～金曜日（祝日、12/29～1/3は除く）
 - ◆ FAX 06-6966-2401
 - ◆ E-mail jouhou-c@ofix.or.jp
 - ◆ URL <http://www.ofix.or.jp/life/index.html>
 - ◆ 住所 大阪市中央区本町橋2-5 マイドームおおさか5階
- OFIX**（公財）大阪府国際交流財団

スペイン語

servicio Prefectural de Osaka de informaciones para Residentes Extranjeros

Es la ventanilla de Consulta para los extranjeros.
 Consultas son gratuitas.

- ◆ Calidad migratoria, labor, servicio médico, asistencia social, vida, etc.
 - ◆ Teléfono directo 06-6914-2297
 - ◆ Horario de consulta
 (de Lunes a Viernes excepto Domingos y Días Festivos)
 - ◆ E-mail: jouhou-c@ofix.or.jp
 - ◆ URL: <http://www.ofix.or.jp/life/index.html>
- 5° Piso MyDome Osaka, 2-5 Hommachi-bashi, Chuo-ku, Osaka
- OFIX** Fundación de Intercambio Internacional de Osaka